

CSHATED

CUP

あえてクシャツとさせた
紙コップ



クシャッテッド カップ

TOKYO MIDTOWN AWARD 2020
- DIVERSITY

ホームパーティなどで活躍する紙コップ。
しかし、どれも無表情で無個性で、
いかにも「大量生産されました」という顔をした
白く無機質なコップだ。
そのため、大人数で使用する際、自分の名前を
マジックで書いたり、何か目印をつけたりする。

CSHATED CUP は
一枚の紙をプレスによって成形した紙コップ。
そのため、プレスの際にできるシワが一個一個異なり、
まるでレースのような表情を生む。
一人一人使う人が異なるように、
偶然できるシワはコップが持つ唯一無二の個性となり、
多様性を生む。
使う人はコップのシワを目印として、自分のコップを
たくさんの紙コップの中から見つけることができる。

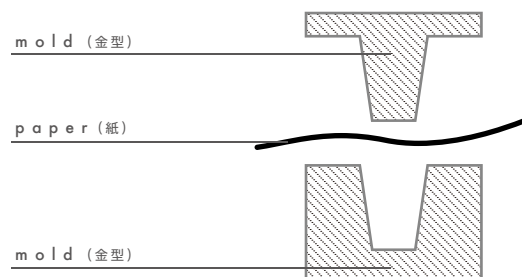
大量生産で、効率的に均一な品質で生産される
プロダクトが当たり前の世の中で、
製造の中に " 不確定要素 " を埋め込んであげたら、
一個一個が異なる表情を持つプロダクトを作れないかと思い、
作った作品です。



MANUFACTURING METHOD of WRINKLE

一枚の紙を金型でプレスすることで、コップの形状を成形する。
金型でプレスすることで、制御できない、偶発的なシワが生まれ、
新しい表情の紙コップとなる。
製造プロセスに " 不確定要素 " を埋め込んであげることで、
均一的な量産がではない、工芸的なニュアンスを創出できる。

PROCESS 1



PROCESS 2

